

公表

事業所における自己評価結果 児童発達支援

事業所名		ギフテッド藍住				公表日	2026年 3月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		支援員やパーテーションを移動し、対応しております。	運動プログラムでは、近隣の公園を使用する等、粗大運動をしっかりと出来る環境で活動しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	5	各部屋に必ず一人は支援員が在るように対策しております。	職員の人員配置については基準を満たしており、基本人員以上で運営しております。一方で、配置基準に関する職員の理解に差が見られたため、今後は制度や基準についての周知や研修を行い、理解の向上に努めてまいります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		構造化し、子どもたちが過ごしやすい環境作りを意識しております。	集中出来ないご利用児様には相談室を開放し、落ち着いて作業や学習ができる環境を提供しております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日清掃を行い、安全対策を行っております。	支援内容に合わせてパーテーションを移動し、活動に応じた空間にしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別のスペースがあり、必要に応じて使用できるようになっております。	必要に応じて相談室を開放しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	1	会議で相談、振り返りを行っております。	PDCAサイクルの理解を深めていき、より良い業務改善を進めてまいります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		毎月家庭の連携シートを配布しており、ご意見をいただいております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	会議や個々での聞き取り・面談を通して、話し合いの場を設けております。	より深く意見交換ができる場を設けていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	2	コンサルタントの方をお招きし、各会議に参加いただいております。	各職員へは評価を可視化し、業務改善へ繋げていきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		月1回5店舗合同会議を行っており、基礎的な研修を受講できるよう仕組化されております。	合同会議を通して支援のスキルアップを目指しております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		ホームページにて公表しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	1	保護者様に聞き取りを行い、ニーズや課題を設定し、計画を作成しております。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	作成時に会議で話し合いの場を設け、案を出したり特性に応じた支援を行っております。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		ご利用児様ごとのファイル内に計画書を保管しています。また、いつでも支援員が確認できる環境にしております。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		ご利用児様に依りて言動・行動をしっかりと観察し、アセスメントを取っております。	HUG(療育支援システム)というツールを使用し、アセスメントや支援記録の確認をよりしやすくしています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		ご利用児様の状況に応じて支援内容を考え、サポートしております。ご利用児様に合わせたホームプログラムのご提案も行ってまいります。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		会議で話し合った内容を基に活動プログラムを支援員全員で考え、実行しております。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		固定しないよう、支援員がローテーションで支援に入っております。	ご利用様がお楽しみの内容を日々考え、提供しております。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		特性に合わせた支援内容を組み、計画書を作成しております。	その日の利用児童の状態に合わせた支援を心がけています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		朝礼を必ず行い、特記事項や支援内容の情報共有をし、支援にできるようにしております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1	気付いたことはすぐに支援員間で共有し、情報伝達はしっかりと行っております。次の日にまとめて共有する時があります。	その日に出来なかった共有事項は翌日の朝礼で必ず行うようにしております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		子どもの変化、行動面、情緒面等、細かく支援記録に残しています。	支援に入る前に必ず支援記録を確認しております。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		定期的に行い、短期・長期目標等の見直し、改善を行っております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		管理者や専門支援員が会議に参加しております。	状況に応じて代表が参加しております。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2	何かあった時にすぐに対応ができるよう、各機関との連携を行っております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	引継ぎシートの記入や面談を行っており、情報共有や相互理解を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		引継ぎシートの記入や面談を行っており、情報共有や相互理解を図っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1	定期的に助言いただいております。	発達特性や身体面へのアプローチなどについて理解を深めるため、児童発達支援センターや専門職の方をお招きし、助言やスーパーバイズを受ける機会を設けていく予定です。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4	5店舗合同のイベントを行う際、地域参加型にする等、工夫しております。	こども園や幼稚園との交流は少ないため、機会を増やしていきたいと思っております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		支援後は必ず本日の支援について伝える機会を設けております。	ご希望があれば面談を設け、より良い支援を提供できるようにしております。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	支援後は必ず本日の支援について伝える機会を設け、ホームプログラムのご提案をしております。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に必ずご説明しております。	支援プログラムについてはホームページに掲載し、いつでも閲覧できるようになっております。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	1	ご利用児童や保護者の主訴を大切にしております。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		支援後は必ず本日の支援について伝える機会を設けております。また、SNSや電話等も活用しております。	ご希望があれば面談を設け、より良い支援を提供できるようにしております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	2			保護者様同士での交流する機会が少ないため、今後、交流の機会を増やしていければと考えております。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1	毎月会報を配布しております。	SNSでも発信し、多くの方に目を通していただけるよう努めてまいります。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		個人情報は厳重に保管、取り扱いにも留意しております。		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		5店舗合同のイベントを行う際、地域参加型になるよう運営しております。		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定するとともに、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		訓練を行った時は掲示板や会報等で周知しております。		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		年に2回以上は訓練を行い、掲示板や会報を通して保護者様へ周知しております。		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		アセスメントを取り、事前に保護者様へご利用様様の状況を確認しております。	アセスメントは個人ファイルに保管しており、支援員がいつでも確認できる体制を整えております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		アセスメントを取り、事前に保護者様へご利用様様の状況を確認しております。	アセスメントは個人ファイルに保管しており、支援員がいつでも確認できる体制を整えております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10				
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		報告書を作成し、委員会を通じて社内でも共有しております。		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		年に1回以上は研修を行っております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1		身体拘束が必要な利用者様は現在いらっしゃらないですが、必要な場合は同意をいただいた上で支援いたします。		